

# 情報誌

令和3年度 第2号



地域の皆様、こんにちは。やざき乳児保育園が開園して一年を迎えようとしています。春の頃、よちよち歩きだった子ども今では園庭を走り回っており、子ども達の日々の成長は目を見張るものがありました。ある日のこと、1歳7か月の子が自分より小さい子が泣いていると、そっとそばにいて頭をなでなでするといふほんわか出来事がありました。小さいながらも思いやりの心が育っていることがうれしくて、お迎えの時に保護者の方にお伝えしました。やざき乳児保育園は少人数なので、職員全員で子どもの成長を共有し、喜び合ってきました。今後も職員全員で子どもの成長を見守り、地域に根ざした子育て支援の拠点になるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。  
※地域の皆様から、不要になった玩具やナイロン袋をご寄付いただきました。感謝申し上げます。

## 『やざき乳児保育園 教育・保育目標』

### 心身ともに健やかな子ども

安心できる存在の保育者に見守られながら、子ども達が様々な物や事柄に興味を持って「やってみたい!」と思う気持ちを大切にしています。主体的に遊ぶことが出来るように、今、子ども達はどんな育ちをしているのか、何に興味を持っているのか等を理解し、挑戦する気持ちが持てるような環境作りも同時に行っています。

### 心やさしく思いやりのある子ども

保育者の応答的な関わりを通し、子ども達との絆を結んでいきます。保育者の存在が子ども達の「心の安全基地」となるような愛情を持って過ごしていきます。保育者に見守られ、安心して園での活動を存分に楽しむことができるような保育を心がけています。

### 豊かな感性を持った子ども

離乳食から幼児食の大切な時期を一人一人の成長に合わせた食事の形態・様々な食材を提供します。食事の時間が、「おいしい!たのしい!」と思える時間になるよう乳児保育園ならではの食育活動を考えています。

### 給食室Q~食育活動を通して~

子ども達は、常日頃からいろいろなことに興味を持ち活動しています。その中のひとつ食育活動の中では様々な食材と出会います。食材に触れ、香りや手触り、食感を感じ、子ども達の五感を育てています。

その日の献立に使用する野菜をから、自分で選び、土を落としながら洗っています。

ジャムサンド作りに挑戦!手指を使いあっという間に塗りました。

塗っている合間に少しお味見♪  
おいしい!

「冬至の日」大きな南瓜に触れつつした手触りに不思議な様子です。「七草粥」の日に七草の香りを感じたりしました。



### 今年冬の子ども達が経験した冬の遊びを紹介します

#### ぶどう組 (1・2歳児)

キラキラ光る氷に興味津々。離さずにつめていました。



お散歩へ行くと、田んぼに氷が張っていました。子ども達に見てほしい!氷に触って氷の感触を味わってほしいな。

みんな、見てごらん。「こおり」だよ。触ってみる?

子ども達の反応は...?

じーっと見ながら氷の感触を味わっている様子です。



つめた〜い!

中には大きな氷を手を持って顔を覗かせている子もいました。氷の形や透明のキラキラした様子に、不思議・好奇心・面白さなどを感じることができました。

#### いちご組 (0歳児)

保育者が雪玉を重ねると、嬉しそうに手を叩いて更に関心を持っていました。



雪がたくさん積もった日、まだ幼い0歳児の子ども達にも雪に触れる経験をしてほしいと思い、タライに雪を入れて保育室に持って来て、雪遊びをしました。



雪に不安を感じ、触るのを躊躇していましたが、何度も遊んでいると、興味が出てきて自ら触り出しました。



月齢の高い子は園庭に出て、雪遊びを楽しむ姿が見られました。



初めての雪遊びは、じっくりと雪に触れ、納得いくまで雪のことを知ろうとしているようでした。



雪との初めての出会いでは、雪のことを知り、雪に触れることで冷たさを感じるだけでなく、溶けたり握ったりすることによっていろいろな形になることがわかりました。

